

常任委員長報告

各常任委員会に付託された議案等の審査結果について、それぞれの常任委員長が報告しました。各常任委員長報告における委員の意見や要望の主なものは次のとおりです。

総務委員会

【2月21日報告】

- *西島の津波避難タワーは住民が待望している施設であるので、住民のニーズを反映したタワーを早期に建設すること。
- *新清水庁舎PFI等アドバイザー業務について、新清水庁舎を災害に強い建物にすることを第一とした上で、災害発生時には民間収益施設等も行政に協力するよう要求水準書の中で求めていくなど、官民の協力により周辺エリア全体の防災力が向上するように取り組むこと。

【3月20日報告】

- *厳しい財政運営が続いているため、行財政改革やアセットマネジメントの推進、民間活力の活用、事務事業の見直し・統合、市税等の収納率を引き続き向上させることなどにより、可能な限り自主財源の確保に努めること。
- *防潮堤の早期整備について、市民の声をしっかり県に届けるよう取り組んでいくこと。
- *旧青葉小学校跡地利活用推進事業について、駿府城公園の中でもまちづくりの核になるゾーンであるため、事業を進めるに当たっては広く市民の声を聴くこと。
- *ふるさと納税について、物(モノ)ばかりでなく、体験型などの事(コト)による返礼にシフトし、シティプロモーションの観点から交流人口増、寄附額増に繋げること。

企業消防委員会

【2月21日報告】

- *消火栓の設置工事のように事務手続き等が水道、消防、道路など複数の部局にまたがる工事は、市民の生命・財産を守るため、部局間の連携を密にして、予定どおり進めること。
- *損害賠償請求控訴事件に係る和解に関連して、様々な救助事案に対応できるよう今後も訓練に努めるとともに、広域消防として十分な活動ができるような組織運営を行うこと。

【3月20日報告】

- *水道料金の値上げはやむを得ない部分もあるが、市民の皆さんの理解が得られるよう、外部委託のあり方の見直しなどによるコストダウンや国庫補助金の活用などに最大限取り組みこと。
- *下水道管の耐震化について、地震時に汚水があふれるなどの環境汚染の減少にもつながることから、伸縮性のある継手の設置など、重要管路の耐震化を計画的に進め、工事を推進すること。
- *高度な消防力を発揮するため、人材育成ビジョンの見直しに合わせ、各部署にスペシャリストを配置できるよう人材育成を進めるとともに、火災予防普及活動には豊富な経験が有効になるので、再任用職員の配置を検討すること。
- *公務災害防止に関連して、今年度も公務における受傷事案があるので、消防職員、消防団員も含めて、訓練を通じて事故防止を十分に行うこと。

厚生委員会

【2月21日報告】

- *がん検診事業について、早期発見、早期治療につながる検診は大変重要であるため、引き続き注力すること。特に、女性特有のがんに対しては、働いている女性が受診する機会を逸することのないよう、医療機関の受入れ態勢を整備すること。
- *私立こども園・保育所等事故防止等推進事業費助成について、長時間労働かつ責任を担う保育士の労働環境改善や事故が起こらない環境への改善を求めるとともに、助成を受けた午睡中の事故防止備品についても効果の検証を行うこと。

【3月20日報告】

- *生涯活躍のまち静岡(CCRC)推進事業では、アクティブシニアの活躍及び多世代間交流の実現に向けて、関連部局で目標を共有し、着実に事業を実施すること。
- *難病医療費支給事業について、県から市への事務移譲後の適切な対応を評価するとともに、今後は日常生活や防災面で患者家族の負担軽減などのため、職員配置を含め対応力の強化を図っていくこと。
- *児童クラブ運営事業では、支援員の処遇及び施設の改善について、定期的に現場に足を運び、支援員や保護者等の意見を反映させ、安心して利用できるよう取り組むこと。
- *子ども医療費助成について、今後も県に対して積極的に情報提供を求め、支援や協力を要請するとともに、県と合意した助成を受ける期間経過後の対応についても、早期に県と協議を進めること。

市民環境教育委員会

【2月21日報告】

- *要・準要保護児童扶助費について、入学準備金の入学前支給が保護者に浸透したことで、必要な時に必要な支援が行われるようになったことを評価する。利用者へのさらなる周知に努めること。
- *家庭では洋式トイレが普及し子どもも洋式トイレに慣れていることから、小中学校校舎トイレリフレッシュ事業の実施に当たっては、財源を集中的に投資し施設整備を進めること。

【3月20日報告】

- *高校生まちづくりスクールについて、高校生に対してまちづくりへの積極的な参加を促すとともに、スクールに参加した高校生が卒業後も活躍できるようなフォローを行うこと。
- *生涯学習交流館の使用料や利用方法の見直しに当たっては、利用団体と十分に協議すること。
- *使い捨てプラスチックからの転換推進事業に関して、ペットボトルやレジ袋の削減などの啓発を行うとともに、市として削減の数値目標を示すこと。
- *不登校対策推進事業について、子どもの状態にあわせてきめ細かな対応をするとともに、訪問教育相談員による丁寧な対応を行うこと。

観光文化経済委員会

【2月21日報告】

- *駿府城公園の発掘調査に関連した「きゃっしる」の今後の運営では、周辺の巽櫓(たつみやぐら)や坤櫓(ひつじさるやぐら)との兼ね合いや駿府城天守台の整備方針について考慮しながら、柔軟な対応を行うこと。
- *野生鳥獣被害対策事業について、被害額と被害面積は減少しているものの、狩猟者の減少や高齢化という課題があるため、ICT機器の導入など他都市の先進事例を学び、引き続き農家や狩猟者の負担を減らす工夫に努めること。

【3月20日報告】

- *歴史文化施設建設事業に関して、引き続き県との情報共有に努めるとともに、駿府城跡天守台発掘調査見える化事業では、エリア全体をフィールドミュージアムとらえた野外展示化の検討を行うこと。
- *駿河湾フェリーの運航支援については、子どもへの利用促進キャンペーンなど様々な企画を引き続き展開し、利用者の掘り起こしに努めること。
- *海洋文化施設建設事業がPFI手法で進められるに当たって、ランニングコストや建設規模を精査する必要があるため、用地取得や地盤調査及び土壌汚染調査の結果について、市民や議会に十分に説明すること。
- *オクシズの森林整備事業については、森林環境譲与税導入による担い手の確保、木材利用の普及促進及び啓発などの事業を効果的に実施し、本市の広大な山林が適切に管理されるとともに、オクシズの地域活性化につながるよう取り組むこと。

都市建設委員会

【2月21日報告】

- *浜川等の河川改修事業について、台風や豪雨災害が頻発しているため、河床や河口の掘削などにより安心安全につながる取組を行うこと。
- *東日本大震災の教訓により地籍調査の重要性が増していることから、取組を加速させること。

【3月20日報告】

- *静岡鉄道沿線における交通環境改善検討事業については、交通弱者の移動手段確保という追分・大坪地区の皆さんの強い要望を受け止め、新駅設置について交通事業者と綿密な協議を重ねること。
- *御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発事業は、民間の投資を呼び込むとともに中心部の賑わいの活性化や若者の人口流出に歯止めをかけるなど高い事業効果が期待できるため、景観や移動空間の整備を含め、これまで以上に力を注ぐこと。
- *鯨ヶ池周辺地区保全活用については、新静岡インターチェンジとの連携や賤機山などの自然を守ることなど、具体的に目指す姿を示し、地域の声を聴くとともに、スピード感をもって対応すること。
- *市営住宅については、市民の皆さんの大切な財産、資源として生かすため、空き部屋への対策に本腰を入れて取り組むこと。また、解体されずそのままになっている市営住宅は防犯・防災や景観の観点から、時期を前倒しで解体すること。

市議会のことが5分でわかる!

PR動画「静岡市議会ってどんなところ?」が完成しました!

静岡市議会は、議会と市民の皆さんとの距離を縮めるため、市議会の概要を紹介・説明する動画を制作し、静岡市広報TV YouTubeにて公開しましたので、ぜひご覧ください。

- 主な構成
- 市民、市役所、市議会との関係
- 議員定数
- 議会のスケジュール、定例会の流れ
- 本会議、委員会
- 広報
- (傍聴、インターネット中継、市議会だより)



URL:http://www.city.shizuoka.jp/281_000157.html



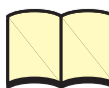
本会議 生放送・録画放送

生放送(LIVE)・録画放送(VOD)をご覧ください。
http://www.city.shizuoka.jp/000_000269.html



総括質問ダイジェスト版放送

コミュニティFMラジオ局で放送予定です。
「マリンバル」(76.3MHz) 「FM-Hi!」(76.9MHz)
放送日時等詳細は決まり次第市議会ホームページに掲載します。



市議会だより発行

6月定例会号は9月1日発行予定です。